

令和3年度 事業見直しについて（広島県府中市）

令和2年6月に策定した第5次府中市総合計画「しあわせ府中2030プラン」に掲げる「選ばれるまち府中市」の実現のため、各戦略ビジョンに基づく事業を確実に実施することが必要です。それに必要となる経営資源（ヒト、モノ、カネ、情報）は限られており、現在実施中の事業について振返り及び見直しを行い、さらに有効・効率的な事業へ、また、優先順位の高い取組へ集中投資するなどの行政経営を行う必要があります。

そこで、令和2年3月に策定した「府中市行政経営プラン（R2～R6）」に基づき、令和3年度に行っているすべての事業について、評価・点検を実施する「事業見直し」に取り組みました。

1 事業見直し指針

- ・ 事業見直しのための指針を策定し、市全体の削減目標額を一般財源ベースで1億円に設定して取り組みました。その削減目標額について行政組織を構成する部ごとに配分し、事業見直しを実施しました。
- ・ また、事業見直しは、フルコスト（事業にかかる経費について、事業費のみではなく事業実施にあたる職員の人役も含めた全体経費）の観点から、事業見直しに伴い影響する人件費についても事業見直し効果として数値化して取り組みました。

2 事業見直しの結果

(1) 見直し効果額（一般財源ベース）

102,695 千円（事業費 57,012 千円、人件費相当額 45,683 千円）

※人件費相当額については、正規職員1人あたり8,500千円/365日、会計年度任用職員1人あたり2,300千円/365日を基に算出

（所管部ごとの効果額の内訳）

- ・ 総務部 18,460 千円
- ・ 健康福祉部 31,025 千円
- ・ 建設部 31,531 千円
- ・ 経済観光部 16,364 千円
- ・ 教育部 5,314 千円

(2) 主な見直し事業 ※効果額には事業見直しに伴う人件費分を含む。

ア 廃止・休止

事業名	担当	効果額（千円）	内容
町内会タブレットによる情報連携	総務課	1,316	試験導入後2年間の有効な活用実績がなく、新しい市民総合アプリ My 府中で代替が可能なため廃止
ICT リテラシー普及事業	政策企画課	2,869	市民向けのスマホ教室等については公民館事業として地域密着型に移行
がん検診事業（前立腺がん、腹部超音波）	健康推進課	3,800	前立腺がん検診、腹部超音波検診については自治体の行う対策型健診として推奨されておらず、近隣自治体も実施していないことから廃止
健康福祉まつり	健康推進課	1,699	コロナ禍も考慮し、健康づくりについて一過性のイベントから日常的な取組へシフト
e-街いきいきフォーラム	女性子ども課	535	総務課の実施する同事業と統合し、年2回開催から1回へ縮減

イ 内容の見直し

事業名	担当	効果額（千円）	内容
医師育成奨学金	医療政策課	1,700	奨学生の採択を隔年に変更 ※効果額は新規採択分の1/2を計上
バス路線	都市デザイン課	2,500	栗柄・土生地区における効果的なバス運行経路の見直し
桜が丘販売促進事業	監理課	7,849	コロナ禍も考慮し、大型イベントの縮小とモデル住宅見学会へのシフト 補助金総額の見直し
Wi-fi ルーターの縮減	学校教育課	2,000	児童の端末をLTE対応したにより不要となったWifiルーターの整理
学びフェスタ	教育政策課	2,932	内容を見直し、2日間のイベントから1日の開催に変更

ウ アウトソーシングの活用

事業名	担当	効果額（千円）	内容
新環境センター	環境整備課	11,426	新環境センターのアウトソーシング及び維持修繕費の縮減

エ 補助金の見直し

事業名	担当	効果額（千円）	内容
私立保育所定員割れ時の補助制度	女性子ども課	4,210	認可法人設立に伴い経営安定までの期限付きで始まった制度でその役割が終了
グループリビング補助金	介護保険課	2,812	若岳荘の入居者の減少に伴い、R4年度内での廃止を進める ※効果額は半年分の補助金額
NEKI 負担金	商工労働課	4,000	来年度収支見込みから減額
新規作物実証事業補助金	農林課	1,233	スマート化・機械化を促進するための新たな補助金へ統合

オ 歳入の確保

事業名	担当	効果額（千円）	内容
ドローン推進事業	政策企画課	4,019	国庫補助金（補助率 1/2）の活用 ※効果額は R3 年度事業費の 1/2 を計上
小児科・産婦人科オンライン相談	医療政策課	1,000	国庫補助金（補助率 1/2）の活用 ※効果額は R3 年度事業費の 1/2 を計上

3 取組の自己評価と今後に向けて

今年度の事業見直しでは、部ごとに目標額を設定し、部内で問題意識を共有したことにより、効果的な取組に繋げることができました。結果、当初の目標額を達成することができ、令和4年度予算編成における財源確保の一助となりました。

引き続き、令和5年度の予算編成に向け、部単位での取組を継続・強化し、徹底したコストカットやビルド&スクラップすることで、新たな政策を推し進めるための財源を確保し、将来にわたり持続可能な財政運営を目指します。